

Teams会議での表示名を変更する

- 就職活動等でのWeb説明会の際、Teamsを利用することがある
- その際、アカウント名をフルネームにする必要がある
- 大学のOffice365アカウントでは初期値がメールアドレス (x.xxxxx.999@ms.saitama-u.ac.jp) である

→ Teams会議での表示名を変更する方法を説明

個人アカウント

- マイクロソフトアカウント
- 個人で作成できる
- 管理者は個人、自分
- Windows 10 と統合されていて、Windows 10 にログインできる
- 新規にxxx@outlook.com, xxx@outlook.jp, xxx@hotmail.com等のメールアドレスを取得してアカウントを作成することも、すでに自分が利用しているメールアドレスをつかってアカウントを作成することもできる
- OneDriveのオンラインストレージやMSのクラウドサービスに使用できる

組織アカウント（埼玉大学では「Office365アカウント」と記述）

- 「学校および職場のアカウント」ともいう
- 学校や会社などの組織が作成し、利用者に貸し出す
- 管理者は組織
- 埼玉大学の学生・教職員が会議に表示される名前やメールの「差出人」の表示を変更する際は情報メディア基盤センターホームページの「統一認証アカウントパスワード管理」画面でおこなう

<https://www.itc.saitama-u.ac.jp/services/MS/O365DisplayName.html>

- 現在はWindows10にもログインできる
- OneDriveのオンラインストレージやMSのクラウドサービスに使用できる
- 契約次第で組織用サービスが使用できる

- Teamsは基本的に組織で使うサービス。組織アカウントでないとTeamsアカウントは作成できない
- ゲストユーザーとして招待されれば組織アカウントが無くてもチャットやオンライン会議に参加可能
- 2020年6月からモバイル版（Android、IOS）のみで、個人アカウントでTeamsアカウント作成、ログインができるようになった
- 2020年12月から[Web版Microsoft Teams]は個人アカウントに対応
- 2020年12月からデスクトップ版も個人アカウントに対応と公式発表があるが、当環境(資料作成者の環境)では実現できない

公式URL

<https://insider.office.com/en-us/blog/personal-features-in-microsoft-teams>

任意の名前でTeams会議に参加する方法

2種類の方法がある。

- 個人アカウントを作成し、ログイン
MS個人アカウントを作成し、モバイルアプリ版かWebブラウザ版でログインする
- ゲストとしてログイン
次ページ

ゲストとしてログインする方法

会議URLをクリックし、デスクトップ版アプリではなくWebブラウザを開くとゲスト名が入力可能になる。任意の名前を使用可能である。

※ ただし、デスクトップ版アプリにログインしている状態で、Webブラウザを開くと勝手にWebブラウザ版でもログインしてしまい、名前が設定できない。ログインしているアカウントの表示名(Office365アカウントの場合、初期値はメールアドレス) になってしまう。

対策

デスクトップ版アプリをログアウトした状態で、会議URLをクリックし、Webブラウザ版を開く。ゲスト名を入力する。